

平成25年度 和歌山県名匠

【漆塗師】

たに おか とし ふみ
谷 岡 敏 史

【現住所】 海南市

【生 年】 昭和13年

業績及び経歴

漆塗師の家系に生まれ、昭和28年、15才の時に父のもとで、修行を始め、谷岡漆芸店の4代目として現在に至る。

紀州漆器は、約400年の歴史を持つ伝統工芸品であり、職人達が創意工夫を重ね、その技術を守り伝えてきた。氏は、紀州漆器の塗り部門において、59年の長きにわたり、研鑽に励み、特に呂色塗りの技法に卓越した技術を有している。脈々と受け継がれてきた伝統技術を継承するとともに、自ら塗りの手法や道具を開発するなど、日々努力を重ねている。氏が開発した「瑞雲塗り」は、中塗りの段階で数種類の色漆を使用^{いろうるし}して塗り上げ、雲に見えるように研ぎ出すのが特徴である。

全国漆器展で日本経済新聞社長賞（昭和56年度）、和歌山県知事賞（昭和58年度、平成10年度）を受賞、平成7年度に伝統工芸士（一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会）に認定されている。

また、後進の指導育成をはじめ、見学の受け入れや体験教室を行う等、紀州漆器の普及・発展に努め、平成16年度に伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰受賞、平成19年度に瑞宝単光章を受章。平成23年5月より紀州漆器伝統工芸士会会長として、伝統ある紀州漆器の振興に尽力し、その功績は多大である。